

スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介

令和4年度開始～令和8年度終了予定

プラットフォーム名: (令和4年5月時点)
Peace & Science Innovation Ecosystem

参画機関

主幹機関:広島大学 **共同機関:**岡山大学、愛媛大学、島根大学、県立広島大学、広島市立大学、叡啓大学、**幹事自治体:**広島県
協力機関:広島市、東広島市、岡山市、松江市、鳥取大学、高知大学、香川大学、産業技術総合研究所、日本貿易振興機構、アリゾナ州立大学、BITSピラニ大学、広島銀行、西京銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、住友商事、マツダ、中国電力、中国電力ネットワーク、コベルコ建機、Calbee Future Labo、オタフクホールディングス、サタケ、バルコム、旭興産グループ、にしき堂、広島ガス、アンデルセン・パン生活文化研究所、三菱ケミカル、EO Setouchi、JFEスチール、福山通運、コニカミノルタ、バイオDX推進機構、NES、ライフタイムベンチャーズ、Spirete、プラチナバイオ、広島ベンチャーキャピタル、サムライインキュベート、いよぎんキャピタル、とっとりキャピタル、フューチャーベンチャーキャピタル、HOXIN、山口キャピタル、Beyond Next Ventures、東京大学エッジキャピタルパートナーズ、テレビ新広島、中国経済連合会、テクノネットワーク四国、ラックス建設、Save Medical、アドダイス、三喜産業

目指すスタートアップ・エコシステム

平和を希求する精神とともにイノベーションを創出するエコシステム(Peace & Science Innovation Ecosystem)を構築する。令和8年度末には、世界が抱える課題解決に貢献する「平和希求型・ベンチャー」総数300社(現状の3倍)、アントレプレナーシップ教育受講者数25,000人(現状の10倍、参画機関の学部生・大学院生の約50%)等を目指す。



(1) 起業活動支援プログラムの運営

- 最大800万円/件のGAPファンド又は最大200万円/件のPoCファンドとして採択。
- データベースを活用しシーズ発掘を行い、外部人材を加えた「スタートアップ創出支援委員会」が選考を実施する。アクセラレーションプログラムの受講やメンタリング機会を提供する「スタートアップ道場」を設置する。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- 25,000人を目標に、共通オンライン教育プラットフォームを整備する。
- 平和希求プログラム等の開放、地域実証フィールドを利用した解決型PBLノウハウの共有、海外大学アントレプレナーシップ教育の提供を実施し、最終的には拠点都市内の希望する全ての者が受講できる環境を整備する。

(3) 起業環境の整備

- 中四国全域での機器利用や起業環境の場の利用を実現するべく、必要な制度改正やルールを整備する。
- 地域間で共有できる試作機器、動画撮影や配信機能を備えた環境を整備し、ピッチイベントなどの活動も通じて、本プラットフォームのエコシステムとしての連携を強化する。

(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

- 広島県の「ひろしまビジョン」を踏まえ、ひろしま好きじゃけんコンソーシアムに「プラットフォーム推進会議」を設置し、「企業版ふるさと納税」や有料会員によるプラットフォーム運営の取組等を中四国地域全体に拡げていく。
- 海外ネットワークを活かしたシンポジウムを実施することで、スタートアップ予備軍を積極的に世界に送り出す。

活動成果

- 令和4年6月より活動開始のため、今後記載予定。

スタートアップ・エコシステム形成支援 プラットフォーム紹介

令和3年度補正予算による支援 令和4年度開始～令和4年度末 終了予定

プラットフォーム名:

(令和4年5月時点)

Peace & Science Innovation Ecosystem

参画機関

主幹機関: 広島大学 共同機関: 岡山大学、愛媛大学、島根大学、県立広島大学、広島市立大学、叡啓大学、幹事自治体: 広島県

協力機関: 広島市、東広島市、岡山市、松江市、鳥取大学、高知大学、香川大学、産業技術総合研究所、日本貿易振興機構、アリゾナ州立大学、BITSピラニ大学、広島銀行、西京銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、住友商事、マツダ、中国電力、中国電力ネットワーク、コベルコ建機、Calbee Future Labo、オタフクホールディングス、サタケ、バルコム、旭興産グループ、にしき堂、広島ガス、アンデルセン・バン生活文化研究所、三菱ケミカル、EO Setouchi、JFEスチール、福山通運、コニカミノルタ、バイオDX推進機構、NES、ライフタイムベンチャーズ、Spirete、プラチナバイオ、広島ベンチャーキャピタル、サムライインキュベート、いよぎんキャピタル、とっとりキャピタル、フューチャーベンチャーキャピタル、HOXIN、山口キャピタル、Beyond Next Ventures、東京大学エッジキャピタルパートナーズ、テレビ新広島、中国経済連合会、テクノネットワーク四国、ラックス建設、Save Medical、アドダイス、三喜産業

目指すスタートアップ・エコシステム

平和を希求する精神とともにイノベーションを創出するエコシステム (Peace & Science Innovation Ecosystem) を構築する。中四国地域を中心に首都圏・海外を含む約100機関の産学官金が結集し、令和4年度末には、中四国地域特有の課題解決を通じて世界が抱える課題解決に貢献する「平和希求型・ベンチャー」総数150社を目指す。



(1) 起業活動支援プログラムの運営

- 研究開発課題は 約30件を予定している。
- シーズ発掘は、共同機関が把握しているシーズのうち、TRLレベル3(起業の意向があり、実用化初期・特許有)またはTRLレベル4(起業の意向があり、実用化後期・特許有)のシーズを中心に支援する。健康医療領域、環境エネルギー領域、次世代ものづくり領域等を「重点領域」として設定し、参画大学に産業界などの外部人材を加えた「スタートアップ創出支援委員会」が選考を実施する。協力機関と連携し支援ステージに応じた適切なハンズオン支援を実施するとともに、GAPファンド終了後は、各自治体が保有する関連予算への適切な橋渡しを推進する。

(2) 起業環境の整備

- アントレプレナーシップ教育の相互開放に必要な教育プラットフォームを各大学で導入する他、地域で共有できる試作機器、動画撮影や配信機能を備えた環境を整備し、ピッチイベントなどの活動も通じて、本プラットフォームのエコシステムとしての連携を強化する。
- 中四国全域での機器利用や起業環境の場の利用を実現するべく、起業を希望する学生・研究者等向けに、共用機器や共有スペース等の利用に必要な制度改正やルール整備を実施する。
- チャレンジする者を支えるワンストップ窓口(ビジネスプラン相談、弁護士対応等)をすべての機関に設置する。

活動成果

- 令和4年6月より活動開始のため、今後記載予定。